

## 8. ソヴィエトの構造と機能

### 8.1. ソヴィエトの理念

ソ連邦およびそれを構成する国々の国名には「ソヴィエト社会主義共和国」という部分が必ず含まれているが、そこに冠されている「ソヴィエト」とは、ロシア語の普通名詞としてのソヴィエト **совѣт**、すなわち会議という意味のソヴィエトではなく、いわば固有名詞としてのソヴィエト **Совѣт**、すなわち直接的には、1905年のロシアにおいて自然発生的に生まれた労働者のストライキ委員会に端を発し、また政治思想的には、マルクスが『フランスの内乱』に書きしるし、レーニンがそれを『国家と革命』に引用した1870年のパリ・コムン<sup>1</sup>の革命的伝統を継承する、労働者の階級的代議制権力機関を意味する。したがって、「ソヴィエト社会主義共和国」とは、革命的代議制権力機関としてのソヴィエト制を採用する社会主義共和国という意味である。それゆえ、1977年憲法第2条には「ソ連邦における全権力は人民に属する。人民はソ連邦の政治的基礎をなす人民代議員ソヴィエトを通じて国家権力を行使する。他のすべての国家機関は人民代議員ソヴィエトの監督のもとに置かれ、ソヴィエトに報告の義務を負う」と規定されており、憲法の規程は少しずつ変わってきたとはいえ、ソヴィエトが国家の政治的基礎であるという原則は、社会主義政権成立の当初から一貫して変わってはいなかった。

ソヴィエト制の歴史は、前述したように1905年に始まるが、ソヴィエトが国家権力機関となるのは、もちろん1917年革命以降のことである。しかし、このソヴィエトが直ちに帝政期の国会にとってかわったわけではない。二月革命の結果、成立した臨時政府は、憲法制定会議の開催を標榜していたが、実際に憲法制定会議が招集されたのは、10月のポリシェヴィキによる権力奪取後のことであり、すでに述べたように憲法制定会議はポリシェヴィキによってあっさり解散させられた。しかし、ソヴィエトは、憲法制定会議にとってかわる全国的な民主的議会ではなかった。ソヴィエトは、前述のように階級的代議制権力機関であり、普通、平等、秘密、直接という選挙の民主的原則に基づいて国民によって選挙される議会ではなかったからである。

### 8.2. ソヴィエトの選挙制度

#### 8.2.1. 不平等制限多段階間接選挙

ポリシェヴィキ政権成立直後のロシアにおける代議制最高国家権力機関は、全ロシア・ソヴィエト大会である。その代議員の選出方法は、1918年憲法によって定められている。さらに、ソ連の結成にともない、1924年憲法において、ソ連の最高国家権力機関としてソ連ソヴィエト大会が設置された。当時のソヴィエト選挙制度は、不平等制限多段階間接選挙であり、農民よりも都市労働者に有利な選挙制度であった。営利目的で労働者を雇用する者、利子等の不労所得で生計をたてている者、個人商人、聖職者、革命前の警察・憲兵隊・秘密警察の職員とその手先、旧ロシア皇族には選挙権と被選挙権が与えられなかった。

レーニンは、労働者と農民の選挙における平等化を将来の課題と明言したが、それが実現したのは、農業の強制的集団化と「富農の撲滅」の後のことであった。レーニンはまた、このような多段階間接選挙制度を採用したのは、世の中が騒然としているとき、広大な国土で中央権力を直接に選挙することが困難であったためであるとしているが、1917年秋に憲法制定会議選挙が可能だったのであるから、内戦終了後は、直接選挙を実施できたように思えるが、実際には、1936年まで直接選挙制度は導入されなかった。

#### 8.2.2. 直接選挙

ソ連の最高国家権力機関が国民の直接選挙によって選出されるようになったのは、1936年憲法がそれを定めてから以降のことである。この1936年憲法により定められた選挙制度は、その後、1977年憲法が採択された後も、ゴルバチョフ期のペレストロイカの過程で改革が行なわれるまで基本的には変わらなかった。

<sup>1</sup> 1871年3～5月、パリで成立した労働者の政権。ブランキら社会主義者は、普仏戦争（プロシア＝ドイツとフランスとの戦争）後、チエールらの臨時政府が対独講和を結んだことに不満を持ち、パリの市民・労働者を指導して暴動を起こし（1871年3月）、パリに自治政府を創設した。同年5月、臨時政府の弾圧とプロシアの介入で鎮圧された。短期間であったが、世界初の労働者政権として注目され、マルクスは、1871年5月に、著作『フランスにおける内乱』を著した。レーニンは、1917年10月の武装蜂起の直前に『国家と革命』を執筆したが、その中で、マルクスのこの著作を引用し、ソヴィエトがパリ・コムン<sup>1</sup>の革命的伝統を継承するものであることを示した。

ソヴィエトの代議員の任期は、1936 年憲法ではソ連最高ソヴィエトならびに連邦構成共和国および自治共和国等の最高ソヴィエトが 4 年、それ以下のレベルの地方ソヴィエト、すなわち辺区、州、自治管区、地区、市、町、村等の各レベルの行政区画ごとに設けられている地方議会としてのソヴィエトが 2 年と定められたが、1977 年憲法でそれぞれ 5 年と 2.5 年に改められた。これらのソヴィエトは、同時に選挙が行なわれるわけではなく、連邦レベルとそれ以下のレベルでは、選挙年が 1 年ずれている。ソヴィエト選挙は各レベルともすべて国民による直接選挙によって行なわれる。選挙は、普通、平等、秘密選挙であり、18 歳以上のすべてのソ連国民に選挙権と被選挙権が与えられる。

### 8.2.3. ソ連最高ソヴィエトの代議員数

ソ連最高ソヴィエト **Верховный Совет СССР** は、連邦会議 **Совет Союзов** と民族会議 **Совет национальностей** の二院制で、第 10 期 (1979~1984 年) 以降、両院の代議員数はそれぞれ 750 名と定められた。ソ連最高ソヴィエトの選挙区は、1 選挙区から選出される代議員数を 1 名とするいわゆる小選挙区制であった。したがって、両院あわせて 1500 の選挙区が設定されたわけである。連邦会議は、各選挙区の人口がほぼ一定になるように設定され、民族会議は、その人口にかかわらず、第 10 期においては、各連邦構成共和国から 32 名ずつ計 480 名 (32×15=480)、各自治共和国から 11 名ずつ計 220 名 (11×20=220)、各自治州から 5 名ずつ計 40 名 (5×8=40)、各自治管区から 1 名ずつ計 10 (1×10=10)、がそれぞれ選出された。

### 8.2.4. ソヴィエトの代議員候補の指名権

ソヴィエトの代議員候補者を指名する権利は、ソ連共産党、労働組合、コムソモール、の諸組織、協同組合およびその他の社会団体、労働集団、部隊ごとの軍人集会、が持つ。候補者指名権を持つこれらの団体はそれぞれの集会で候補者を指名する。さらに、選挙区ごとに、指名された代議員候補者の検討のために、社会団体、労働集団および部隊ごとの軍人集会の代表からなる選挙区選挙前集会在開かれ、当該選挙区の候補者が最終的に決定される。ソ連邦におけるソヴィエト選挙の最大の特徴は、この選挙区選挙前集会在である。ここで見るように、最初、候補者は、選挙区内の種々の社会団体ごとにその集会でそれぞれ指名が行なわれる。したがって、この段階では、1 選挙区で複数の候補者が指名されている。しかし、社会団体、労働集団および部隊ごとの軍人集会の代表からなる選挙区選挙前集会在開かれ、最終的には候補者が 1 名にしばられる。したがって、この選挙区選挙前集会在における候補者しぼり込みの過程が、まさに選挙なのであって、最終的に行なわれる投票は、たとえ普通、平等、秘密、直接選挙であっても、選択の余地のない、小選挙区制のもとでの単独候補者の信任投票であり、唯一の候補者を代議員として確認するための単なるセレモニーに過ぎない。

### 8.2.5. 選挙区選挙前集会在

それゆえ、ソヴィエト選挙において最も重要なのは、選挙区選挙前集会在であり、ここでどのようにして候補者のしぼり込みが行なわれるかが最大のポイントなのである。そして、共産党一党制のもとでは、この過程において共産党が決定的役割を持ち、誰を最終候補者にするかは、共産党が決定するのである。しかし、皮肉な言い方をすれば、誰が候補者になっても大して変わりはないのである。なぜならば、ソヴィエトはそれ自身がほとんどセレモニーであって、そもそもそこでは実質的には何も決定できないからである。とはいえ、選挙にまったくの意味がないわけではない。候補者の指名から選挙区選挙前集会在における候補者のしぼり込み、そして最終的な投票へと至る選挙の全過程は、国民に対する政治教育の場であるというばかりでなく、一部の党幹部にとっては自己に対する国民あるいは社会団体の支持を確認する場としての意味もある。わずかではあっても、投票率や信任投票率の低下があれば、それはただちに候補者自身とそれを選定した党の威信に傷がつくからである。ちなみに、ペレストロイカ以前の連邦レベルの最後の選挙であった 1984 年のソ連邦最高会議の全国平均投票率は 99.99%、また全国平均の信任票率も、例えば連邦会議代議員に対しては 99.94%であった。

### 8.2.6. 投票

投票は、あらかじめ投票用紙に記載されている候補者名のうち、投票したい候補者の姓を投票用紙に残し、他の候補者の姓を抹消することになっているので、候補者が 1 名しかいない場合、投票者は、候補者を信任する場合はそのまま投票用紙を投票箱に入れ、不信任の場合にのみその候補者名を抹消して投票することになり、不信任票を投じたい者だけが記入用のボックスに立ち寄ることになるので、実際には、秘密投票は保

障されていなかったことになる。ソヴィエト選挙で候補者が当選するためには、選挙人全体の過半数の支持を得なければならなかった。この「選挙人」とは、実際に投票した人のことではなく、投票する権利を持っている人のこと、すなわち有権者のことであるから、言い換えれば、無効票の数や棄権者の人数をも加えた総数に対する得票数の比率、すなわち絶対得票率が、50%以上でなければ当選と見なされないということである。また、投票率が50%以上でなければ選挙そのものも成立しないようになっていた。したがって、投票率を下げないために、投票区が、保養所や病院、大きな鉄道駅、空港、港、極地観測所、航行中の船舶にさえ設置され、その上さらに、健康状態または交通事情により投票所に来ることができない選挙人のために、その申し出によりその居所での投票を行なうことを認め、また、大きな鉄道駅に置かれた選挙管理委員会が駅および長距離列車における投票を保障していた。

### 8.3. 行政機関

ソヴィエト制は議院内閣制に似ている。

ソ連最高ソヴィエトはソ連大臣会議議長（首相）Председатель Совета министров СССР および各連邦大臣 Министры СССР を、共和国最高ソヴィエトは共和国大臣会議議長および各共和国大臣を、地方（すなわち辺区 край、州 область、自治管区 автономный округ、地区 район、市 город、町 посёлок、村等 село）ソヴィエト Местный Совет は執行委員会議長 Председатель исполнительного комитета および各執行委員 члены исполнительного комитета をそれぞれ選任し、それぞれソ連大臣会議、共和国大臣会議、地方執行委員会が行政を執行する。

しかし、これらの行政機関の選任は、形式的なものに過ぎない。というのは、実際には、ソ連大臣会議議長および連邦大臣、ならびに共和国大臣会議議長および共和国大臣は、ソ連共産党中央委員会書記局の管理するノーメンクラトゥーラ（党員登録カード）に含まれており、ソ連共産党中央委員会書記長または政治局員等の提案に基づき、ソ連共産党中央委員会政治局が決定するからである。同様に、地方執行委員会議長および執行委員はその上部の行政単位に相応するソ連共産党地方機関が決定する。例えば、市執行委員会議長および市執行委員は、その市を管轄する州の党委員会書記のノーメンクラトゥーラに含まれている。

### 8.4. 国家元首

ソ連の国家元首は、憲法上の明確な規定はないが、ソ連最高ソヴィエト幹部会議長と考えられてきた。

### 8.5. ソヴィエトの機能

#### 8.5.1. 立法機関

見かけ上、すなわち形式上、ソヴィエトは議会であり、立法機関である。ソ連最高ソヴィエトおよび共和国最高ソヴィエトは、ソ連および共和国における最高国家権力機関として憲法 конституция および法律 закон、ならびに決定 решение および決議 резолюция を採択する。

ここで、「見かけ上、形式上」と言うのは、実際には、ソ連最高ソヴィエトはソ連共産党の政治局で採択された決定をそのまま追認するだけであり、同様に、共和国最高ソヴィエトおよび地方ソヴィエトも同等のレベルのソ連共産党地方機関の決定を追認するだけの役割しか果たしていない（rubber stamp）。

#### 8.5.2. 行政機関の選任

ソヴィエトによる行政機関の選任は、8.3.で述べたように、形式的な機能に過ぎない。

#### 8.5.3. ソヴィエトの意味

立法機関としての機能および行政機関の選任の機能は、いずれも形式的なものに過ぎないが、だからといって、ソヴィエトが単なるセレモニーであり、まったく無意味なものであるというわけではない。

ソヴィエト選挙は、国民の動員および政治教育の重要な機会として位置づけられており、またその投票率の高低は、当該地域の共産党および行政機関に対する地域住民の評価と考えられ、ソ連共産党中央指導部にとって地方幹部評価の重要な機会と考えられてきた。

ソヴィエト代議員のほとんどは、1 期限りの素人代議員であり（tail member）、国民が各級ソヴィエト代議

員に選出されることもまた、国民に政治教育を与える場として考えられていた。むしろ、ソヴィエト代議員の一部は、各級のソ連共産党の幹部党員によって占められており、彼らがソヴィエトの指導部（議長団、幹部会）や行政機関指導部（大臣会議議長、大臣、執行委員会議長、執行委員）に選任されることになっている。

8.6. ソヴィエトの機構（1936～1989 年）

